

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.			
									H28	H29	H30	H31						
1	1 地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする人を育む	1 オーガニックなまちづくりに対する機運を醸成し、多様な人材を育む機会を設ける	No.1 みんなでつくろう「日本初オーガニックシティ」プロジェクト	企画部	企画課	オーガニックなまちづくり条例の制定		オーガニックなまちづくりを地域一体となって推進するため、基本理念や施策の方向等を定める「オーガニックなまちづくり条例」を制定し、取組の発表や交流の場となるフェスティバルを開催します。また、「(仮称)オーガニックアクションパートナーズ」登録制度を導入し、取組の輪を広げるとともに、市民・団体・企業等が取組を進めるための活動目標の設定及び評価の仕組みづくりや「(仮称)オーガニックなまちづくり大賞」表彰等の取組を進めます。さらに、有識者とまちづくりのビジョンについて懇談する場の設置について検討を行います。これらの取組により、日本初となるオーガニックシティとしてのブランドの確立を図ります。	制定・施行	-	-	-	オーガニックをまちづくりの視点として、地域社会を構成する多様な主体が一体となり、木更津市を人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承していくことを目指し、「木更津市人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例」(通称:オーガニックなまちづくり条例)を制定しました。	対内的に「オーガニックなまちづくり」の更なる普及啓発を行い、対外的に「オーガニックシティきさらづ」の魅力を最大限発揮することを目的として、平成29年11月に「木更津市オーガニックシティフェスティバル2017」を開催する予定です。	1			
2				企画部	企画課	オーガニックシティフェスティバルの開催		木更津市で行われているオーガニックなまちづくりの取組を各方面へ普及啓発し、まちづくりへの理解や参加促進を図るため、平成28年11月16日・17日にかずさアカデミアパークで「木更津市オーガニックシティフェスティバル2016」を実施しました。	開催	▶	▶	▶	「オーガニックなまちづくり」を市全体に普及させるため、平成29年度中の実施を目指し、制度の構築を行いました。		普及啓発を行い、登録者数を増加させ、「オーガニックなまちづくり」の取組の輪を広げます。	2		
3				企画部	企画課	(仮称)オーガニックアクションパートナーズ登録制度の構築・運用				制度構築	実施	▶	▶					3
4				企画部	企画課	オーガニックアクションの評価システムの構築・運用				検討	制度設計	運用開始	▶			評価制度の運用に向けた検討を行いました。	地域一体となって、「オーガニックなまちづくり」を推進するため、市民の取組項目やその実施状況を明らかにし、主体的に取り組んでいけるよう、平成30年度運用開始に向けて、制度構築を行います。	4
5				企画部	企画課	(仮称)オーガニックなまちづくり大賞表彰制度の導入				-	検討	表彰	▶				オーガニックなまちづくりに対する機運を醸成するため、平成30年度からの実施に向けて検討を行います。	5
6				総務部	秘書課	持続可能なまちづくりのビジョン共有に向けた取組				-	検討	実施	▶				事業の詳細について検討します。	6
7				環境部	まち美化推進課			地域のまち美化活動への支援	環境美化の促進を図るため、各小学校と地域との連携により、花を育て、歩道や公共用地への花の植栽等を行うなど、地域住民・団体等が自主的に取組むまちをきれいにしていく美化活動を支援します。	実施	▶	▶	▶		市内19の小学校が主体となり育てた花を、各校の周辺地域の方々や連携・協力し、歩道や公共用地等に花の植栽等を行うことにより地域の美化促進に努めました。	本事業は平成27年度から実施し、平成29年度で3年目を迎えていることから、各校と周辺地域の連携を更に強化することが必要です。また、各校における各種授業・活動と本事業の内容が重複していること等を鑑み、各校の業務負担の軽減を図る措置を検討します。	7	
8				環境部	まち美化推進課			リサイクルフェアを通じた意識の醸成	ごみに対する市民の関心を高め、ごみの減量化・資源化等の取組みに理解と協力を得るため、毎年、リサイクルフェアを開催します。	実施	▶	▶	▶		リサイクルフェア開催時に、ポスターコンクール、リサイクルクイズなどを実施しました。	引き続き、ポスターコンクール、リサイクルクイズなどを実施します。	8	
9				環境部	まち美化推進課			ごみ減量化資源化の推進	子ども会や自治会等の資源ごみ集団回収への助成や生ごみ減量化を推進するため、肥料化容器等の購入設置者への助成など、一層の普及・啓発を図ります。	実施	▶	▶	▶		資源ごみ集団回収推進助成金は、総申請団体数410団体に総交付額3,873,356円を助成しました。また、資源回収育成助成金は総交付額2,582,237円、生ごみ肥料化容器等購入設置助成金は、コンポスター分7,100円、リサイクラー分72,600円を助成しました。	集団回収推進助成金について、新たに金属類やビールケースも助成の対象とし、さらに推進を図っていきます。	9	

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.
									H28	H29	H30	H31			
10	1 地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする人を育む	1 オーガニックなまちづくりに対する機運を醸成し、多様な人材を育む機会を設ける	No.1 みんなでつくろう「日本初オーガニックシティ」プロジェクト	環境部	まち美化推進課	市民まち美化活動の促進	市民まち美化活動の促進	ごみの散乱防止と地域環境美化の促進及び美観風致維持のため、市民、地域と連携し、市域の清潔な環境づくりを推進します。	実施	▶	▶	▶	ゴミゼロ運動をはじめとした4大清掃の実施、飼い犬の糞・不法投棄防止に係る看板の配布・設置、不法投棄監視員制度の活用及び監視カメラの設置等を行うことにより、不法投棄の抑止・防止に努めました。また、空き地に繁茂した雑草について、対策本部を設置し、全庁的に取り組み、まちの美化促進に努めました。	引き続き、まち美化に関する各種事業を継続することにより、生活環境の美化を促進します。	10
11				市民部	スポーツ振興課	スポーツを通じた健康づくりの推進	スポーツを通じた健康づくりの推進	スポーツ体験会やスポーツ・レクリエーション大会等の開催を通じ、市民の健康体力づくりを推進します。	実施	▶	▶	▶	ヨガ等の市民スポーツ教室やスポーツレクリエーション大会等を実施しました。	引き続き、スポーツ体験会やスポーツレクリエーション大会等の開催を通じ、市民の健康体力づくりの推進を図ります。	11
12				市民部	健康推進課	健康きさらづ21の推進	健康きさらづ21の推進	「第3次健康きさらづ21」に基づき、健康寿命の延伸・健康格差の縮小に向け取組を推進します。	実施	拡充	▶	▶	妊娠期、乳幼児期、成人期、高齢期など全てのライフステージにかかる取組みをこどもの健康づくり部会、働きざかり推進部会、食育推進部会、心の健康づくり部会活動と健康推進課事業で実施しました。地区の活動を優先したことで、母子成人あわせ延べ953件の家庭訪問を実施し、昨年度と比較し2倍増加しました。	引き続き、ライフステージにおける保健指導の充実を図ります。新たに、「母子保健コーディネーターの配置」、及び若年期健診事後指導のメタボ予防のための「若年期からの生活指導予防事業」を新設し、栄養・保健指導の充実を図ります。	12
13				市民部	健康推進課	「きさらづ健康ウィーク」実施による健康づくりへの支援	「きさらづ健康ウィーク」実施による健康づくりへの支援	健康ウィークを開催し、健康と体力づくりを意識したスポーツ活動の実践や健康に対する意識向上を図ります。	実施	▶	▶	▶	週間イベントでは、健康増進センターを会場にロコモ運動体験やウォーキングレッスン、In Body測定会などを開催し、メインイベントでは、かずさアカデミアパークを会場にノルディックウォーキングや野菜の適量チャレンジなど多くの体験会を行いました。また、市長とアスリートとの対談では市民の方へ健康・運動に関する講演会を行いました。	引き続き、健康・運動に関する体験会、講演会を行い、市民の健康に対する意識付けを図ります。	13
14				市民部	健康推進課	「健康マイルージ」実施による健康づくりへの支援	「健康マイルージ」実施による健康づくりへの支援	健康に対する関心を高め、健康的な生活習慣を実践する契機とするため、「健康マイルージ事業」を実施します。	実施	▶	▶	▶	28年度の応募人数は1,001人と27年度より少ない応募でしたが、応募に必要なポイントの項目を、検(健)診以外にも献血や健康増進センター等が主催するイベント・健康講座、食事・運動に関する取り組み内容などを増やし、市民の健康的な生活習慣を実践する支援を行いました。	健康増進センターや公民館等と連携して、市民が健康に対する関心を高めていくよう、引き続き健康に対する意識付けを図ります。	14
15				市民部	健康推進課	食生活改善活動による食育啓発活動	食生活改善活動による食育啓発活動	各種イベントや健診会場で食育活動を行い、健康に対する意識向上を図ります。	実施	▶	▶	▶	イベントではイオンモール木更津「食に関する啓発活動」でおやつや野菜の適量について1,050人、アカデミアホール「きさらづ健康ウィーク」で野菜摂取1日350gや減塩活動を455人、また、がん検診会場・若年期健診結果説明会会場で野菜摂取1日350gや減塩についてのチラシ配布を2,002人の市民の方へ行いました。	「きさらづ健康ウィーク」イベントや健診結果説明会会場などで食育活動を行い、引き続き健康に対する意識付けを図ります。	15
16				市民部	健康推進課	若年期からの生活習慣病発症予防の推進	若年期からの生活習慣病発症予防の推進	若年期のメタボリックシンドローム要支援者に食事管理等の支援を行い、健康不安の解消等を図ります。	実施	拡充	実施	▶	生活習慣病予防の発症予防と重症化予防活動を中心に、成人を対象とした健康教育、健康相談、家庭訪問等を実施しました。健康教育では6,944人、健康相談は337人、家庭訪問は532人に実施し、健康への意識向上、生活習慣病予防のための啓発及び指導を行いました。	引き続き、若年期健診後のメタボ予備軍、メタボ該当者への保健指導を充実させていくと共に、新たに「若年期からの生活指導予防事業」を新設し、栄養指導の強化を図ります。	16
17				市民部	健康推進課	木更津市健康増進センターの運営	健康増進センターの運営	健康増進センターを通じて、運動の場を提供し、市民の健康増進に寄与します。	実施	▶	▶	▶	平成28年度で初めて年間の利用者数が13万人を突破しました。レッスンや教室などの利用者の増加した分が市民の健康増進へ繋がります。また、いきいき館のテニスコート近くにランニングコースを設置し、無料で開放しています。(ノルディックウォーキングの講習も行っていきます。)	今後も市民が気軽に参加できるようなレッスンや教室を実施し、市民の健康増進がより推進されるような取組を行っていきます。	17
18				市民部	スポーツ振興課	健康づくりに向けた環境整備	健康づくりに向けた環境整備	運動による健康づくりの場を提供するため、江川総合運動場の拡張整備事業を推進します。	実施	▶	▶	▶	江川総合運動場拡張整備事業に伴い、陸上競技場の費用対効果分析調査業務委託を実施しました。	陸上競技場の平成31年度共用開始に向け、整備を図ります。また、引き続き野球場・サッカー場の整備を図ります。	18

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.
									H28	H29	H30	H31			
19	1 地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする人を育む	1 オーガニクなまちづくりに対する機運を醸成し、多様な人材を育む機会を設ける	No.1 みんなでつくろう「日本初オーガニックシティ」プロジェクト	教育部	まなび支援センター	国際理解教育の推進	様々な国籍を持つ外国語指導助手(ALT)を市内の小中学校に派遣し、言語や異文化の理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てます。	様々な国籍を持つ外国語指導助手(13名)を派遣し、「小学校外国語活動」や中学校の英語科授業を通し、言語や異文化の理解を深め、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図れるよう取り組みました。	実施	▶	▶	▶	引き続き、様々な国籍を持つ外国語指導助手(ALT)を市内の小中学校に派遣し、言語や異文化の理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てます。	19	
20				教育部	学校教育課・まなび支援センター	確かな学力の育成の推進	学習意欲の喚起や基礎・基本の定着を図るため、算数・数学検定等を実施します。	9月と2月の年2回、算数・数学検定を実施し、学習意欲の喚起や基礎・基本の定着を図れるよう取り組みました。	実施	▶	▶	▶	引き続き、学習意欲の喚起や基礎・基本の定着を図るため、算数・数学検定等を実施します。	20	
21				教育部	生涯学習課	少年自然の家キャンプ場の拠点とした青少年の自然体験活動の促進	少年自然の家キャンプ場の利用促進を図るとともに、豊かな自然環境と真里谷城跡の歴史的環境を生かした事業など、新たなプログラムの実施に向けて取り組み、青少年の生きる力と豊かな人間性を育みます。	少年自然の家キャンプ場を会場に中学生を対象とした生き生き体験キャンプ事業や、春と秋の2回、親子で野外炊飯や竹工作などを実施するキャンプ場利用促進事業などの青少年健全育成に関する各種事業を実施し、近年不足がちになっている体験活動の場となりました。	実施	拡充	実施	▶	青少年の豊かな人間性を育み、自立と社会参加を促進するため、生き生き体験キャンプ事業などの青少年健全育成に関する事業を引き続き実施します。また、平成29年度は新たに、豊かな自然環境や歴史的環境を生かした体験活動の事業を実施します。	21	
22				教育部	学校教育課	学校支援ボランティア活動を通じた人材育成と地域コミュニティの結びつきの強化	学校支援ボランティアを通じて、特色ある学校づくりや地域コミュニティの強化等に寄与し、また、子どもたちの心の教育を推進します。	平成10年度に立ちあげた本事業は、今年度で20年目を迎えました。登録人数は今年度末で1,865名、延べ活動人数は19,863名、延べ活動件数は5,596件であり、木更津市の教育の根幹を支える事業となっています。この取り組みにより、市内の子どもたちが安心して安全な学校生活を送ることができました。	実施	▶	▶	▶	ここ数年は安定した活動状況を継続することができているので、今後は教育支援活動にも力を入れ、子どもたちの健全育成を図っていきます。また、本事業の更なる充実を目指すために、今後は子どもたちによるボランティア活動の推進にも目を向けながら、より一層力を入れていきたいと考えています。	22	
23				教育部	生涯学習課	各種事業を通じた人材育成の推進	市民公開講座、生涯学習フェスティバル(実行委員会)など、市民の学習機会を提供することで、まちづくりを担う人材を育てます。	市民公開講座は、全7回の講座を開催し、122名が受講しました。社会教育関係団体等約40団体で実行委員会を組織し、第25回生涯学習フェスティバルを開催しました。約4,500人が来場し、各ブースでさまざまな交流、体験が行われ、市内の生涯学習活動・市民活動を多くの方に知っていただく場となり、地域の文化・人の交流が図られる良い機会となりました。	実施	▶	▶	▶	市民公開講座及び生涯学習フェスティバルについては、平成29年度も引き続き開催していく予定です。	23	
24				教育部	中央公民館	地域課題に取り組む人材育成の推進	地域課題に取り組む事業を通して、課題解決に主体的に参画する人材を育成します。	地域課題解決のため、防災講座等の事業を開催し、地域の拠点としての公民館の充実と自主的に活動する市民のための学習活動を支援することができました。	実施	拡充	▶	実施	平成27年度までの健康講座、平成28年度の防災講座の事業実施の継続に加え、新たに地域課題の解決に向けた事業の開催・運営について検討し、実施していく予定です。	24	
25				福祉部	自立支援課	市民後見人の育成	高齢者や障害者等が、自分らしく安心して暮らすことができるように成年後見制度の仕組みづくりを進めます。	きざらつ成年後見支援センターと連携し、成年後見制度の啓発、市民後見人のフォローアップ研修などを行いました。なお、市民後見人養成講座終了者が、県内で初めて単独で成年後見人となりました。	実施	▶	▶	▶	平成30年度市民後見人養成講座の開催に向け、準備を行っていきます。また、市民後見人養成講座終了者が活躍できる場をつくり、地域で支えあう地域連携ネットワークの構築に向け、準備を進めていきます。	25	
26				企画部	街なか交流推進課	みなとまち木更津推進協議会を通じた市民主体のまちづくり	「みなとまち木更津推進協議会」の活動を通じて、多様な主体が「市民が主役のまちづくり」を実践できる場を提供します。	平成28年度から始まった「木更津ナチュラルバル」では、様々な出店者による出店や、協力団体が発案した企画を実施するなど、「市民が主役のまちづくり」に向けた取り組みを行いました。	実施	▶	▶	▶	引き続き、市民団体と協力しながら各事業に取り組み、これまで以上に市民が主体となって事業を進めていけるような環境づくりを目指します。	26	
27				総務部	危機管理課	自主的な防災活動を支える人材の育成	地域における自主的な防災活動を支える人材育成を推進するため、各種支援や実務者講習等を実施します。	自主的な防災訓練、視察研修及び防災講話へ職員の派遣を行いました。派遣回数は46回、延べ参加者数は5,080人です。また、自主防災実務者講習会を開催したところ、34名が受講し、うち29名が千葉県災害対策コーディネーターとして登録されました。	実施	▶	▶	▶	引き続き、自主的な防災活動への支援及び自主防災実務者講習会を開催します。	27	

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.
									H28	H29	H30	H31			
28	1 地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする人を育む	1 オーガニクなまちづくりに対する機運を醸成し、多様な人材を育む機会を設ける	No.1 みんなでつくろう「日本初オーガニックシティ」プロジェクト	総務部	職員課		木更津市職員の人材育成基本方針の改訂	「ふるさと木更津」を次世代に引き継ぎ、持続可能な未来を創るため、職員の能力向上、組織力を高めることを目的とし、人材育成基本方針を改訂します。	検討	計画	実施	▶	人材育成のため研修等の充実を図り、また、人事評価本格実施に伴い、人事評価者研修を実施しました。	人材育成基本方針の平成30年度以降の実施に向け、具体的な指針を定めます。	28
29				教育部	生涯学習課		社会教育関係職員の人材育成	地域の人材等をつなぎ、具体的な行動を促す役割を担う職員を育成するため、支援や研修を行います。	実施	拡充	実施	▶	地域の人材等をつなぎ、具体的な行動を促す役割を担う職員を育成するため、公民館館長・事業担当職員合同会議、公民館館長及び職員のための初任者研修会を開催しました。また、第51回君津地方社会教育推進大会をはじめ君津地方及び県の社会教育委員連絡協議会の主催する研修会等に参加しました。	社会教育振興施策のさらなる充実を図るため、各種研修会を開催するとともに、近隣3市や県内の社会教育に関係する団体の活動等にも参加し、関係職員の資質向上に努めます。	29
30	2 新たな活動等に挑戦する市民及び団体を支援し、有機的な連携を構築する	No.2 頑張る市民を応援しようプロジェクト		市民部	市民活動支援課	市民活動支援センターによる市民活動への支援の充実		様々な市民活動に対する支援や有機的な連携の構築に向け、平成29年度から市民活動支援センターに新たに指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活かした支援の充実を図ります。また、市民活動団体等が主体となって行う福祉・環境・教育・文化・スポーツなどの公益性のある取組に対し、財政面で支援を行います。	実施	指定管理者導入	▶	▶	市民活動の更なる活発化のため、市民活動コーディネーターがヘルプデスクとして常駐し、市民活動団体等への支援を行いました。また、ホームページ、フェイスブック、季刊誌等による各団体の活動周知及び団体交流会を開催し、団体同士のネットワークづくりを推進しました。	引き続き、市民活動団体を支援するため、各団体の情報収集及び相談業務並びに交流の場として、センターの活用を行うとともに、平成29年度より指定管理者制度を導入し、官民一体となった管理運営を行うことでセンターの更なる有効利用及び利用率の向上を図ります。	30
31				市民部	市民活動支援課	協働のまちづくり活動への支援		平成28年度は、福祉、環境、文化等の市民活動団体(14団体)からの応募があり、財政的な支援を行いました。平成27年度と比べ、応募数及び新規団体数が増加したことから、市民や団体に事業の周知が広がってきた兆しが見え始めています。	実施	▶	▶	▶	平成28年度で当制度実施より5年を迎えたことから、これまでの実績と課題を踏まえた中で、本市にあった制度として、継続、充実させ、市民活動の更なる活発化を図るため、他市の事例を参考に支援金の交付方法等を検討していきます。	31	
32				経済部	産業振興課	産業・創業支援センターを通じた支援の推進		産業・創業支援センターを拠点として、あらゆる分野の産業支援を行うことで、産業の活性化を推進します。	実施	▶	▶	▶	産業・創業支援センターにおいて、新規創業や既存事業者の売上向上に対する相談を385件受け、その結果9件の創業を支援することができました。あわせて、創業塾やセミナーを開催し、創業者の盛り起こしやフォローを実施しました。	平成29年6月末のセンター長の任期終了にあわせ、行列のできる相談所として有名な富士市産業支援センター(f-Biz)をモデルとする支援を導入し、中小事業者や創業者に対する更なる支援の強化を図り、産業の活性化を推進します。	32
33				3 学校教育、社会教育等を通して、ふるさとに誇りと愛着を持つ市民を育む	No.3 金鈴塚古墳出土品の魅力創出プロジェクト	教育部	郷土博物館金のすず	金鈴塚古墳出土品の国宝化をめざした調査研究		ふるさとに誇りと愛着を持つ市民を育むため、国の重要文化財である「金の鈴」などの上総木更津金鈴塚古墳出土品について、考古遺物として県内初の国宝指定に向け、国や県の指導のもと学術的な整理作業を実施し、本市の新たな価値の創出を図ります。また、こうした取組を各小中学校の授業の中で触れるとともに、広く市民に対し情報発信を行うことで、郷土博物館金のすずの来館者の増加を図ります。	実施	▶	▶	▶	国立歴史民俗博物館において、歴博フォーラム「金鈴塚古墳の輝き」を実施するとともに、「金鈴塚古墳研究5」を刊行し、胄と弓関係資料などを報告しました。また、金鈴塚出土品のうち、装飾品類について図面化作業を実施しました。
34	教育部	文化課・郷土博物館金のすず	金鈴塚古墳出土品の魅力創出に向けた取組のPR活動			情報発信を行うことで、郷土博物館金のすずの来館者の増加を図ります。	-	実施	▶	▶	▶	学校教育・生涯学習活動等を通じて金鈴塚古墳および出土品の価値について周知していくための広報資料(パンフレット)等を作成し活用を図ります。	34		
35	教育部	まなび支援センター		地域学習の推進		小学校3・4年生が社会科の学習で使用する副読本の編集を通して、本市の歴史や情勢を的確に理解するとともに、地域の一員としての自覚や誇り、愛情を育む教育の推進を図ります。	実施	▶	▶	▶	▶	市内小学校3年次へ配布し、社会科学習にて小学校3・4年生が活用しました。また、3年に1度の副読本の改訂(編集・製作)を行いました。	引き続き、小学校3年次に配布し、社会科の副読本として活用し、本市の歴史や情勢を的確に理解するとともに、地域の一員としての自覚や誇り、愛情を育む教育の推進を図ります。また、本市の現状に即せるよう資料のデータ等を3年に1度、改訂本を編集し印刷製本をします。(今回は平成31年度)	35	
36	教育部	文化課				木更津市史編さんに向けた取組	新たな『木更津市史』編さんを通して、本市の文化・歴史・自然を再確認するとともに、全国へ発信し、魅力ある木更津を紹介していきます。	実施	▶	▶	▶	▶	市広報誌で木更津の古文書、古写真などの情報提供を呼びかけ、市史編纂部会による資料調査を実施し、「木更津市史編さんだより」創刊号を発行するとともに、市ホームページで市史編さんに係る情報を発信しました。また、3回目になる市史編さん事業公開講座を実施し、市史編さんの必要性と木更津に残る古民家及び近代建築を紹介し、木更津の魅力を伝えました。	市史編纂部会を追加設置するとともに、共同調査や調査実習を受け入れ、調査内容及び範囲の拡充を図りながら調査を継続します。また、市史編さん事業公開講座を実施するとともに「木更津市史編さんだより」第2号の他、「木更津市史編さん事業公開講座」を刊行し、市史編さん事業による調査成果の公表と周知活動の拡充を図ります。	36

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.	
									H28	H29	H30	H31				
37	1 地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする人を育む	3 学校教育、社会教育等を通じて、ふるさとに誇りと愛着を持つ市民を育む	No.3 金鈴塚古墳出土品の魅力創出プロジェクト	都市整備部	都市政策課	良好な景観形成の推進		良好な景観形成の推進を図るとともに、地域への誇りや愛着を醸成するため、講演会や写真展を開催します。	実施	▶	▶	▶	木更津市景観写真展を開催しました。	引き続き、木更津市景観写真展を開催します。	37	
38	2 自然と共に発展する持続可能なまちの基盤を整備する	4 多様な地域資源を活かす、新たな価値を創出する産業を振興する	No.4 木更津の魅力を引き出す観光地域づくりプロジェクト	経済部	観光振興課	木更津版DMOの設立及び運営に対する支援		多様な地域資源を活かし、新たな価値を創出する観光づくりを推進するため、市内の関係団体や事業者等と合意形成を図りながら、戦略的なマーケティング調査・分析に基づく観光プロモーションや観光ツアー造成などを行い、「観光地域づくりの推進役」を担う民間主導の組織である「木更津版DMO」の設立及び設立後の活動を数年にわたり支援します。また、自然体験プログラムをテーマとしたメニューを創出し、着地型観光プログラムの実現をめざします。さらに、海外からの観光客誘致に向けて、都心との近接性等を活かした、自然とのふれあいや新鮮な食材などを、官民一体で宣伝していきます。	検討	設立・運営支援	運営支援	▶	平成29年度中に木更津版DMOを設立・始動できるよう事業スケジュールを精査し、地域再生計画を策定しました。また、併せて、地方創生推進交付金の申請を行いました。	地域再生計画及び地方創生推進交付金が採択となったため、当初スケジュールどおり平成29年度中の木更津版DMO設立・始動を見込み、事業を進めていきます。	38	
39				経済部	観光振興課	自然体験観光の推進		事業初年度の28年度は、干渉での生物観察と、海苔すき体験の計2回のモニターツアーを実施し、各回約30名程度の参加がありました。参加者アンケートでは、参加して良かったという意見が多数でした。ただ、モニターツアーの実施時期など修正していく点もありますので、翌年以降は初年度の反省を活かした取組を実施します。	実施	▶	▶	未定	事業初年度の28年度は、干渉での生物観察と、海苔すき体験の計2回のモニターツアーを実施し、各回約30名程度の参加がありました。参加者アンケートでは、参加して良かったという意見が多数でした。ただ、モニターツアーの実施時期など修正していく点もありますので、翌年以降は初年度の反省を活かした取組を実施します。	本事業は「市内の小中学校を教育旅行として木更津に迎える」ことを当面の目標とし、学校の先生等にモニターツアーに積極的に参加して頂くように依頼しています。今後、先生がモニターツアーに参加しやすい時期にツアー実施をしたり、子供が参加しても安全だと思われる様なツアーの実施を行っていきます。	39	
40				経済部	観光振興課	インバウンド観光の推進		8月に台湾の著名ブロガーを対象に木更津地域のファムトリップを実施しました。また、そのアウトプットとして11月には台湾現地でも地域資源PRのため、ブロガーと共に官民一体となった情報発信、誘致活動イベントを行いました。この結果、木更津市観光協会のFacebookで200を超える「いいね！」を獲得し、SNS上で繋がりができました。	実施	▶	▶	▶	8月に台湾の著名ブロガーを対象に木更津地域のファムトリップを実施しました。また、そのアウトプットとして11月には台湾現地でも地域資源PRのため、ブロガーと共に官民一体となった情報発信、誘致活動イベントを行いました。この結果、木更津市観光協会のFacebookで200を超える「いいね！」を獲得し、SNS上で繋がりができました。	情報発信手段が浅いため、観光協会のHPの多言語化に併せ、観光協会のFacebookに繁体字・英語のアカウントを作成し、定期的にタイムリーな観光情報を発信していきます。また、SNS上でHPとリンク付けさせ、情報を拡散させていきます。	40	
41				経済部	産業振興課	企業誘致の推進		かずさアカデミアパークをはじめとする誘致拠点への企業立地を促進し、経済活動の活性化を推進します。	実施	▶	▶	▶	立地希望企業などからの相談などに対応するとともに、市内への再投資を促進するため、立地済み企業への個別訪問を行いました。また、対岸を中心に企業訪問による誘致活動を実施しました。	立地を検討している企業に対して、引き続き、きめ細かな支援を行っていくとともに、企業訪問などにより得られた情報や動向を分析し、企業のニーズに即応できる誘致活動を行っていきます。	41	
42				農業委員会事務局		農地等の利用の最適化の推進		地域ごとの農地バトロールや地区懇談会の開催等を通じて、農地利用の集積・集約化や新規参入の促進を図ります。	実施	▶	拡充	▶	実施	▶	例年どおり、農業委員及び職員で農地利用状況調査を実施しました。また、金田・清川・中郷地区の農業者との意見交換会を実施しました。	新たに新設される農地利用最適化推進委員を加え、農地利用状況調査、及び農地バトロールを実施します。また、農業委員と農地利用最適化推進委員で連携し、農地利用の集積・集約化や新規参入の促進を図ります。
43	5 地産地消など域内循環を促進し、環境に配慮した事業活動又は暮らし方を奨励する	No.5 地元野菜を食べて循環・学校給食プロジェクト	教育部	学校給食課	学校給食を活用した地域活性化への取組		地産地消を促進し、環境に配慮した暮らしを奨励するため、市内の農村部に位置する小中学校において、地元農家が生産するオーガニック野菜等を給食食材に使用し、その残渣を校内に設置した生ごみ処理機で堆肥化し、地元農家へ還元する循環の取組を通して、食育を推進するとともに、地域経済の活性化を図ります。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、有機農産物等への需要が高まる中、学校給食への提供をはじめとして、有機米の生産促進に向けた取組を支援します。	実施	▶	▶	▶	継続実施	平成27年度から継続して、モデル校である鎌足小・中学校の学校給食において、地元産食材(オーガニック野菜等)を積極的に取り入れました。また、給食残渣を活用した循環を題材とする食育授業を実施しました。	循環を実施する学校数を増やすとともに、地元産食材(オーガニック野菜等)の安定供給を目指します。	43	
44			経済部	農林水産課	有機米の生産促進に向けた取組		有機米の生産促進の検討段階として、水稻の有機・無農薬栽培の技術面での課題である雑草防除対策について、大学や市内生産者等と協力し、機械・装置の開発、装置を用いたの実証、効果の検証・研究を実施しました。	検討	▶	調査・研究	▶	試行	▶	実施	ハード面、ソフト面からの検証および改良に取り組みながら、試験的に有機米の栽培を実施し、実際の圃場での効果実証等、検証を行います。また、有機米稲農家を増やすためにも、様々な参入障壁等の課題への検討が必要であるため、有機農業者就農プランや研修プランを計画しながら、実施にむけた研究を行います。	44
45			教育部	学校給食課	有機米を使用した学校給食の提供		有機米を学校給食で使用するため、情報収集を行いました。	検討	▶	▶	▶	▶	一部実施	引き続き、情報収集を行いながら、関係機関との調整を図っていきます。	45	

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.
									H28	H29	H30	H31			
46	2 自然と共に発展する持続可能なまちの基盤を整備する	5 地産地消など域内循環を促進し、環境に配慮した事業活動又は暮らし方を奨励する	No.5 地元野菜を食べて循環・学校給食プロジェクト	経済部	農林水産課	環境に配慮した農業活動の推進	環境に配慮した農業活動の推進	環境負荷の低減を図る資材の導入等の取組に対して支援を行います。	検討	実施	▶	▶	園芸農業用廃プラスチック類の適正処理を図るため、木更津市農業用廃プラスチック対策協議会の行う適正な回収処理の啓発、回収計画の樹立及び回収と適正な処理を支援しました。	さらなる園芸農業用廃プラスチック類の適正処理を図るため、廃プラスチック処理量の削減とほ場における作業の効率化を図るため、平成29年度より生分解性マルチフィルム導入費用の一部を補助を実施し、農村環境の保全と施設園芸農家の健全発展を図ります。	46
47				経済部	農林水産課	木更津産農林水産物等の流通促進	流通事業者や飲食店等を対象に木更津産農林水産物のPRを行うほか、生産者団体等と連携し食と農をテーマとするイベントを開催します。	平成29年3月に開催されたフードテックジャパンでは市内3事業者と出展し、木更津産農林水産物の販路拡大へむけたPRを行い、流通促進の向上を図りました。また、11月3日には食と農をテーマとしたイベントを開催し、生産者団体、関連団体と連携を図り、市内および市外から多くの来場者を集客し、周知、PRを図りました。	実施	▶	▶	▶	今後も引き続き、生産者や関係団体等と連携し、木更津産農林水産物の付加価値の向上や販路拡大につながるよう、フードテックジャパンへの出展や農林水産物関連のイベントを開催し、木更津ブランドとして認知度の向上を図ります。	47	
48				総務部	管財課	環境負荷の少ない交通手段の推進	共用車両を環境性能の優れた車両へ入れ替えるほか、公用自転車を導入し、環境負荷の低減に努めます。	共用車両の更新は行いませんでした。また、公用自転車については、導入に向けて、方策を検討しました。	検討	▶	実施	▶	老朽化の進んだ共用車両について、優先的に環境性能の優れた車両へ入れ替える予定です。また、公用自転車については、駅前・朝日庁舎共に配備できるよう、規則整備や調達方法について、引き続き検討を進めます。	48	
49				都市整備部	営繕課	公共建築物整備の基本指針に基づく整備の推進	オーガニックなまちづくりを踏まえた公共建築物整備の基本指針を策定し、指針に基づく取組を推進します。	オーガニックなまちづくりを踏まえた「木更津市公共建築物整備の基本指針」を策定し、関係各位への周知を行いました。	策定	推進	▶	▶	平成29年4月1日より適応となるため、策定した指針に基づいた設計・事業整備に取り組みます。	49	
50				教育部	施設課	環境に配慮した木造校舎の建設	中郷小学校について、自然で温かみのある木造校舎を建設するとともに、太陽光発電設備を設置します。	国庫支出金の交付決定が遅れたため解体工事のみを行い、木造校舎の建設及び太陽光発電設備設置工事の着手が出来ませんでした。	実施	▶	▶	-	中郷小学校校舎建設及び太陽光発電設備設置について、平成30年1月より杭撤去を行い、4月より建設工事を開始、平成31年1月に完成予定です。	50	
51				都市整備部	市街地整備課	公園整備の取組	地球温暖化対策として、温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備を推進します。	金田東特定土地区画整理事業により帰属を受けた公園の整備に着手し、金田東2号公園、金田東5号公園の2公園の整備が完了しました。	実施	▶	▶	▶	平成29年度には、金田東1号公園、金田東7号公園の2公園の整備を予定し、平成30年度以降は、金田東特定土地区画整理事業地区内の4公園、今後帰属を予定する金田西特定土地区画整理事業地区内の7公園、請西千束台特定土地区画整理事業地区内の2公園について、順次整備を行ってまいります。	51	
52				水道部	工務課	水道施設における自然エネルギー利用の推進	官民連携による水道施設の特性を利用した効率的な小水力発電の取組について、経済性、導入方法等の検討を行います。	水道施設への小水力発電装置の設置を検討した結果、未利用であった水力エネルギーで発電が可能であることが判明しました。また、すでに小水力発電を実施している事例を調査した結果、施設用地の貸付けにより発電事業者を公募することが経済的、維持管理面においてもリスクが無く、有利であることが判明しました。	検討	▶	実施	▶	より良い小水力発電事業者を選定できるよう募集要項を作成し、平成30年度中に発電が開始できるよう公募を実施します。	52	
53				環境部	環境管理課	住宅用省エネルギー設備導入の促進	一般家庭等に住宅用省エネルギー設備を設置する方に対して補助金を交付し、環境に配慮したまちづくりをめざします。	太陽光発電システムなどの住宅用省エネルギー設備6設備を設置した市民に対して、合計336件 23,586,000円の補助金を交付し、家庭におけるエネルギー利用の効率化、最適化を図りました。	実施	▶	▶	▶	平成29年度の千葉県補助金交付要綱改正に伴い、補助対象設備や補助要件が変更になったため、変更内容を明確に申請者に周知しつつ、円滑に受付を行いながら補助金を交付します。	53	
54				環境部	まち美化推進課	生ごみ堆肥化への取組	市内小・中学校等から発生した給食の残りを堆肥化し、ごみ減量化を推進します。	給食の残りを堆肥化するための生ゴミ処理機を設置しました。	実施	▶	▶	▶	設置した生ゴミ処理機より生成した肥料を市民へ配布します。	54	

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.	
									H28	H29	H30	H31				
55	2 自然と共に発展する持続可能なまちの基盤を整備する	6 地域特性に応じた拠点を形成し、豊かな里山及び里海を保全し、活用する	No.6 コンバト+ネットワークの拠点づくりプロジェクト	企画部	街なか交流推進課	内港周辺地区の魅力向上に向けた取組		地域特性を活かした拠点の形成を推進するため、木更津駅周辺地区については、市庁舎などの公共施設の再配置や内港を含めた中心市街地のあり方について整理するとともに、環境の整備や良好な住宅の供給等による居住機能の強化に向けて、マンション建設補助・取得助成を推進します。また、賑わいづくりとして、「みなと木更津うみ祭り」や「木更津バル」、「木更津ナチュラルバル」、「イルミネーション設置」等の取組や、庁内横断的な組織の設置により、賑わいづくりの検討を実施します。さらに、木更津港が、新たな人々の受入拠点となるよう、大型外航クルーズ船の寄港実現に向け、基盤整備や誘致活動を推進します。	マスタープラン作成	事業スキームの検討/マーケティング調査	基本計画・実施計画作成	整備促進	内港周辺地区の魅力的な空間づくりを目的に、その将来像についてのマスタープランを作成しました。	企業へのヒアリングを実施し、木更津内港周辺地区への進出可能性を探るなど、内港マスタープランの対象地区を中心としたマーケティング調査を行います。	55	
				都市整備部	市街地整備課・住宅課	マンション建設補助・取得助成による街なか居住の促進		木更津東インターチェンジ周辺については、地方創生の拠点となる「道の駅」の整備を推進し、平成29年秋に開業します。拠点間をつなぐネットワークについては、広域幹線道路網の整備効果を地域に波及させる道路網の整備を進めるとともに、地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通の実現をめざします。良好な景観形成に向けて、植栽等の取組を行う団体に対し支援を行います。	制度運用	補助実施	▶	▶	国庫補助金の要望を行いました。また、街なか居住マンション建設補助事業全体計画を審査しました。	国庫補助金の申請を行います。また、補助金の支出を行い、事業の適正な執行を確認します。	56	
				企画部	街なか交流推進課	街なかの賑わい創出に向けた取組			木更津東インターチェンジ周辺については、地方創生の拠点となる「道の駅」の整備を推進し、平成29年秋に開業します。拠点間をつなぐネットワークについては、広域幹線道路網の整備効果を地域に波及させる道路網の整備を進めるとともに、地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通の実現をめざします。良好な景観形成に向けて、植栽等の取組を行う団体に対し支援を行います。	実施	▶	▶	▶	街なかの賑わい創出を目的とした検討委員会を設置し、市内高校生との意見交換会を実施するなど、今後の賑わいづくり方向性についての整理を行いました。	引き続き、検討委員会の実施や学生との意見交換会の実施などにより、街なかの賑わい創出に向けた取組みを行います。	57
				企画部	街なか交流推進課	大型外航クルーズ船誘致に向けた取組			木更津東インターチェンジ周辺については、地方創生の拠点となる「道の駅」の整備を推進し、平成29年秋に開業します。拠点間をつなぐネットワークについては、広域幹線道路網の整備効果を地域に波及させる道路網の整備を進めるとともに、地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通の実現をめざします。良好な景観形成に向けて、植栽等の取組を行う団体に対し支援を行います。	誘致・課題整理	誘致・基盤整備	誘致	▶	大型外航クルーズ船の寄港に向け、現在の木更津港におけるハード面、ソフト面の課題整理や、中国でのトップセールスを行いました。	発着港を想定した受入環境整備検討や、ホテルシップ誘致検討、船社や中国旅行会社への寄港促進活動の実施、航行安全対策検討を行います。	58
				経済部	農林水産課	地方創生の拠点となる「道の駅」の整備			木更津東インターチェンジ周辺については、地方創生の拠点となる「道の駅」の整備を推進し、平成29年秋に開業します。拠点間をつなぐネットワークについては、広域幹線道路網の整備効果を地域に波及させる道路網の整備を進めるとともに、地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通の実現をめざします。良好な景観形成に向けて、植栽等の取組を行う団体に対し支援を行います。	実施設計・工事着手	工事・開業	運営	▶	ハード面では、道の駅建設に係る実施設計および土木工事(1期工事)に着手し、工期通りに工事を進めるとともに、ソフト面では、道の駅活性化協議会を開催し、共同企業体である事業者と販売手数料の検討や出展事業者への説明会を行いました。	建築工事(2期工事)に着手し、平成29年秋の開業に向け、事業者等と連絡調整を図りながら契約期限内の完成を目指す。また、木更津市道の駅活性化協議会と連携を図り、開業後は、協議会及び、各部会等と協力して、地域振興施設としての活性化を目指します。	59
				都市整備部	都市政策課	良好な景観形成の推進			木更津東インターチェンジ周辺については、地方創生の拠点となる「道の駅」の整備を推進し、平成29年秋に開業します。拠点間をつなぐネットワークについては、広域幹線道路網の整備効果を地域に波及させる道路網の整備を進めるとともに、地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通の実現をめざします。良好な景観形成に向けて、植栽等の取組を行う団体に対し支援を行います。	検討	実施	▶	▶	植栽等の取組を行う団体に対する支援策について検討しました。	景観形成助成金交付要綱を策定し、運用を開始する予定です。	60
				都市整備部	土木課	道路網の整備			木更津東インターチェンジ周辺については、地方創生の拠点となる「道の駅」の整備を推進し、平成29年秋に開業します。拠点間をつなぐネットワークについては、広域幹線道路網の整備効果を地域に波及させる道路網の整備を進めるとともに、地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通の実現をめざします。良好な景観形成に向けて、植栽等の取組を行う団体に対し支援を行います。	実施	▶	▶	▶	本取組に係る3事業の道路網整備において、全体の約12%の進捗が図れました。	平成29年度以降についても、更なる事業進捗を図ります。	61
				企画部	企画課	公共交通の再編に向けた取組			木更津東インターチェンジ周辺については、地方創生の拠点となる「道の駅」の整備を推進し、平成29年秋に開業します。拠点間をつなぐネットワークについては、広域幹線道路網の整備効果を地域に波及させる道路網の整備を進めるとともに、地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通の実現をめざします。良好な景観形成に向けて、植栽等の取組を行う団体に対し支援を行います。	計画方針策定	計画策定	▶	▶	将来訪れる社会情勢の変化や、まちづくりの進展に対応できる地域公共交通政策の基本的な方向性を定めるため、平成22年3月に策定した「木更津市地域公共交通(路線バス)に関する基本方針」の見直しを行い、平成29年3月に今後を見据えた新たな枠組みを構築しました。	まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を行い、公共交通全体で市民の移動の利便性を高めるため、JRや高速バス、タクシーなど、公共交通機関を網羅した「地域公共交通網形成計画」を見直された「木更津市地域公共交通(路線バス)に関する基本方針」を踏まえたうえで策定し、市に望ましい公共交通網を構築することを目指します。	62
				環境部	環境管理課	盤洲干潟の保全に対する支援			木更津東インターチェンジ周辺については、地方創生の拠点となる「道の駅」の整備を推進し、平成29年秋に開業します。拠点間をつなぐネットワークについては、広域幹線道路網の整備効果を地域に波及させる道路網の整備を進めるとともに、地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能な公共交通の実現をめざします。良好な景観形成に向けて、植栽等の取組を行う団体に対し支援を行います。	実施	▶	▶	▶	ボランティア団体に補助金を交付し、ボランティア団体がクリーン干潟の観測会、干潟に関する意識啓発普及等の干潟保全活動を行ったことにより、干潟保全に関する多くの市民の意識を高めることができました。また、市民に観察の場を提供するために遊歩道に砕石を引く等の整備を行いました。	引き続き、干潟保全の維持を推進します。	63

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.
									H28	H29	H30	H31			
64	2 自然と共に発展する持続可能なまちの基盤を整備する	6 地域特性に応じた拠点を形成し、豊かな里山及び里海を保全し、活用する	No.6 コンバクト+ネットワークの拠点づくりプロジェクト	経済部	農林水産課	漁場の環境保全及び生態系保全に対する活動支援	干潟等の漁場の環境及び生態系を保全する活動に対し支援を行い、水産資源の増進、安定供給を図ります。	取組等の概要	実施	▶	▶	▶	漁業者等グループによる害敵生物駆除(カイヤドリウミゴモ、ツメタガイ、アオサ等)や底質改善等の干潟等の保全活動に対し支援を行ったが、平成19年以降に発生したカイヤドリウミゴモの影響は大きく、アサリに寄生し、斃死を引き起こすため、水産資源の回復には依然として厳しい状況が続いています。	本市水産業を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、害敵生物等の継続的な駆除及び漁場環境の改善等に対する支援を今後も実施し、水産資源の増進、安定供給に向けて取り組みを実施します。	64
経済部				農林水産課	林業の振興	森林の整備や再生への支援、里山・林の整備・保全活動への支援を行います。	実施		▶	▶	▶	間伐や作業路の確保等、市民生活に重要な役割を果たしている里山林をはじめとする森林の適正な整備、保全活動を支援しました。	引き続き、関係団体等と連携し、森林の適正な整備、保全を図っていきます。また、資源の有効利用等も踏まえてサンプスギ林の再生事業への支援も行っています。		
66				都市整備部	都市政策課	木更津都市計画地区計画の決定	鎌足地区において、耕作放棄地の解消、有機農産物の生産販売などに取り組む団体の取組の推進を図るため、地区計画を定め、循環型農業の推進に寄与します。	実施	-	-	-	平成29年3月17日付けで、耕す木更津農場地区地区計画を都市計画決定しました。	道の駅を拠点とした事業者が行う地域振興や農業振興を推進する農村と都市との新たな交流拠点としての形成の取組に対し支援します。また、同進入路における看板の設置等について、関係機関との協議を支援してまいります。	66	
67				経済部	産業振興課・農林水産課	新たな交流拠点形成に対する支援	事業者が行う地域振興や農業振興を推進する農村と都市との新たな交流拠点の形成の取組に対し支援します。	実施	▶	▶	▶	事業者が行う地域振興や農業振興を推進する農村と都市との新たな交流拠点としての形成の取組を支援するための施設として、道の駅整備事業に係る事業者選定などを行いました。また、農業生産法人の進入路築造に伴い、関係機関との協議において支援を行いました。			
68	3 多様なあり方を認め合い、支え合う、自立した地域社会の仕組みを構築する	7 地域の自主的な活動等に対し支援する	No.7 広げよう地域の自主的な活動等のまちづくりプロジェクト	市民部	市民活動支援課	地区まちづくり協議会への支援	防災や防犯、福祉等のさまざまな地域課題の解決に向けて、地域が主体となって取り組むことのできる仕組みづくりとして、地区まちづくり協議会の新規設立を促進するとともに、まちづくり協議会に参加し、ともに活動する地域推進職員を通じた支援の充実等により、全市的な取組へと拡大を図ります。また、東京湾アクアライン効果を活かし、職住近接の新たな玄関口となった、金田地区の地域性を踏まえ、人口増加に対応した施設整備を図ることで、賑わいある交流拠点の形成及び商業・居住機能が調和した良好な住環境のまちづくりを推進するため、(仮称)金田地域交流センターを整備します。	地域推進職員導入	▶	▶	▶	2025年未来予想図検討会の提言に基づき、まちづくり協議会の更なる活発化及び地域に寄り添い地域課題の解決に向けた取組を行う職員として、33名の地域推進職員をまちづくり協議会へ派遣しました。また、平成28年度には新たに4地区のまちづくり協議会が設立され、それぞれの地域課題解決のため、取り組みました。	引き続き、まちづくり協議会の活動を活性化させるため、地域推進職員を派遣し、地域と行政が一体となって協働によるまちづくりを推進し、地域課題の解決に向けた取組を行います。また、市内全域の設立に向けて、地域における各種団体及び関係部署等と調整を図り取り組んでいきます。	68	
69				市民部	市民活動支援課	(仮称)金田地域交流センターの整備	平成27年度に実施した基本設計を基に、施設の機能や設備、運用面等について、受託業者及び関係各課並びに地元住民等と調整を図り、より詳細な設計図を作成しました。	実施設計	建設	▶	供用開始	平成28年度に作成した設計図を基に、平成29年度から工事に着工します。また、施設の運用面については、引き続き関係各課との調整を図り、本年度中の条例制定を目指します。			
70				総務部	危機管理課	地域が自ら動き、支えあう防災活動の推進	新規設立の自主防災組織に対し資器材を交付するほか、避難行動要支援者名簿を活用し、災害時に円滑に安否確認や避難支援をするための環境をつくります。	実施	▶	▶	▶	自主防災組織5団体に資器材を交付しました。また、自治会、自主防災組織、民生委員等の避難支援等関係者に避難行動要支援者の名簿情報を提供するため、避難行動要支援者に対して名簿情報の開示に係る同意確認を行いました。	引き続き、新規設立の自主防災組織に対し資器材を交付します。また、同意があった避難行動要支援者の名簿情報をとりまとめ、避難支援等関係者に提供します。	70	
71				総務部	危機管理課	自主防災組織などが整備する防災基盤への支援	自主防災組織などが整備する災害用井戸などの設備に係る初期費用の一部助成について検討します。	-	検討	▶	実施	事例を収集の上、内容を検討します。			
72	消防本部	警防課	消防団と自主防災組織との連携強化に向けた取組	災害時において消防団と自主防災組織との適切な役割分担のもと、相互の連携協力を図るための支援を行います。	検討	▶	実施	▶	災害時において、避難所等での消防団での役割を確認し、自主防災組織と相互に連携・協力するためにどうすれば良いのかを話しあい、「木更津市消防団災害対応マニュアル」を改正しました。	消防団が「木更津市消防団災害対応マニュアル」に基づいた活動を実施するための訓練を実施していただきます。また、機能別消防団女性部が大規模災害時に避難所で活動するため、自主防災組織の方と顔が見える関係を築いていくためにどうすれば良いのか等を検討してまいります。	72				

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.
									H28	H29	H30	H31			
73	3 多様なあり方を認め合い、支え合う、自立した地域社会の仕組みを構築する	7 地域の自主的な活動等に対し支援する	No.7 広げよう地域が主体のまちづくりプロジェクト	総務部	危機管理課		災害時支援者登録制度の創設に向けた取組	事業所等が災害時に協力できる活動内容を登録し、地域住民に周知する制度について検討します。							73
74				福祉部	高齢者福祉課		生活支援体制整備の推進	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるように、高齢者を支える体制づくりを推進します。							74
75				福祉部	高齢者福祉課		介護予防活動の育成・支援	高齢者の介護予防の強化を図るため「住民主体の通いの場」の立ち上げや支援を行います。							75
76	8 多様な暮らし方又は働き方に資するための環境を整備する		No.8 笑顔あふれる地域で子育て応援プロジェクト	市民部	健康推進課	妊娠・出産・子育てへの継続的支援		安心して子育てができる環境づくりとして、妊娠期から子育て期にわたって、切れ目ない健康づくりへの支援を行う母子保健コーディネーターを配置するとともに、「子育て世代包括支援センター」の設置に向けた取組を進めます。また、児童の預かりの手助けをして欲しい方と、手助けができる方が、身近な地域で子育ての相互援助を行うファミリーサポートの取組を推進するとともに、保育園の待機児童解消に向け取組を進めます。さらに、子育て期の女性を対象とした就労支援を行います。	実施	拡充	実施				76
77				市民部	健康推進課	母子保健コーディネーターによる母子支援				検討	実施				77
78				福祉部	子育て支援課	子育て世代包括支援センター設置に向けた取組				検討	準備	設置			78
79				福祉部	子育て支援課	ファミリーサポートの充実に向けた取組				準備	実施				79
80				福祉部	子育て支援課	保育園の待機児童解消に向けた取組			地域型保育事業所3園開園	認定子ども園1園開園	許可保育所1園開園	既存保育園増築			80
81				経済部	産業振興課	子育て期の女性の就労に対する支援				検討	実施				81

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.
									H28	H29	H30	H31			
82	3 多様なあり方を認め合い、支え合う、自立した地域社会の仕組みを構築する	8 多様な暮らし方又は働き方に資するための環境を整備する	No.9 自然×利便性のまち木更津で暮らすプロジェクト	経済部	産業振興課	移住・定住の相談窓口の設置		多様な暮らしが実現できる本市の魅力を活かした移住・定住を促進するため、ハローワークや関連民間事業者等と連携し、相談窓口を設置するなど、希望者への支援を推進します。さらに、空家バンクを創設し、希望者に対するコーディネートを行うなど、空家の利活用を図ります。また、空家の購入者等に対し、リフォームに要する費用の一部を助成します。あわせて、多様なツールを活用し、住みたくなるまちとしての魅力を戦略的に発信するためのシティブロモーションを推進します。	検討	実施	▶	▶	移住希望者に対するきめ細かな対応を図るための相談窓口の設置に向け、関係各課との連携を図るための情報共有及び事務のすり合わせを行いました。また、本市・NPO法人木更CoN・宅建協会南総支部の3者における移住・定住の活動に関する協定の締結に向け、検討を行いました。	「移住・定住相談窓口」を設置するとともに、新たに民間事業者等と協定を締結し、物件情報、暮らし情報などをフンストップで提供する体制を構築しました。また、ハローワークや農業法人などと連携し、都内での地元企業による合同求人説明会や暮らし体験ツアーなどを開催して、移住・定住を働きかけていきます。	82
83				都市整備部	住宅課	空家バンクを活用した移住・定住の促進			検討	一部実施	実施	▶	空家バンク制度について、検討を行いました。	空家バンク制度の要綱を策定し、平成29年12月から運用を開始する予定です。	83
84				都市整備部	住宅課	空家リフォームに対する支援			検討	▶	実施	▶	空家リフォーム助成制度について、検討を行いました。	引き続き、空家バンクに登録された空家のリフォームに対する助成制度を検討し、平成30年4月の実施をめざします。	84
85				企画部	情報政策課	オーガニックシティプロモーションの推進			検討	実施	▶	▶	「オーガニックなまちづくり」を地域ブランドの核とし、その魅力を戦略的に内外へ情報発信することで、「オーガニックなまち、木更津」の認知度の向上とイメージアップを図ることを目的に、オーガニックシティプロモーション推進指針を策定しました。	平成28年度に策定したオーガニックシティプロモーション推進指針を踏まえ、統一的なイメージのもと実施するため、各課への周知を徹底して行います。また、本市の魅力を戦略的に発信するツールとして、パンフレットを作成し、東京23区の窓口やロビー、千葉県東京事務所、県外の関係機関等において配布を行います。	85
86				企画部	企画課	男女共同参画の推進	男女共同参画の推進	性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会をめざして、男女共同参画の推進やワーク・ライフ・バランスの促進を図ります。	実施	▶	▶	▶	男女共同参画フォーラムの開催、男女共同参画情報紙の発行などにより、男女共同参画の推進やワークライフバランスの促進のための啓発を行いました。また、木更津市男女共同参画推進委員会の答申を受け、木更津市男女共同参画計画(第4次)〜きさらづ 共に輝くハートフルプラン〜を策定しました。	男女共同参画フォーラムの開催、男女共同参画情報紙の発行など、男女共同参画の推進やワークライフバランスの促進のための啓発を更に充実させていきます。また、木更津市男女共同参画計画(第4次)に基づき、具体的施策の推進を図ります。	86
87	9 市内外の多様な主体との連携を推進する		No.10 世界とつながる木更津プロジェクト	企画部	企画課	国際交流の推進		多様な主体との連携を推進するため、関係機関と協力し、市民レベルの交流をはじめ、姉妹都市や友好協定の締結都市等との交流を深めます。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、市民の国際理解を促進するとともに、事前キャンプ地誘致に向けた取組を推進します。さらに、市や企業、商店、学校等でフェアトレード商品が広く浸透し、その普及を継続して推進するフェアトレードタウンへの認定をめざした取組を進めます。	推進	▶	▶	▶	平成28年9月28日に韓国槐山郡、11月18日にインドネシア共和国ボゴール市との友好協定を、平成29年3月13日にフィリピン共和国ビスリグ市との覚書を締結し、今後のさまざまな分野における交流内容について取り決めを行いました。	木更津工業高等専門学校と国立聯合大学(台湾)間で行われている学生交流をきっかけとして交流のある台湾苗栗市と、本市市制施行75周年に併せて友好協定を締結予定です。また、インドネシア共和国ボゴール市と友好協定に基づき、人材派遣事業や教育交流等を行い、両市の関係性を深めます。	87
88				企画部	企画課	2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致への取組			推進	▶	▶	▶	かずさ4市(木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市)が連携し、2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致を行うため、4市での取り組みを協議し、事前キャンプ地誘致PR資料を作成しました。	ナイジェリア連邦共和国を誘致希望国とし、大使館に対して、作成した資料を基にプレゼンを行い誘致を進めています。また、誘致に際して国際交流イベント等の開催を予定し、ナイジェリアを中心とした西アフリカ諸国との友好関係を深めます。	88
89				企画部	企画課	フェアトレードタウン認定に向けた取組			検討	広報啓発	▶	▶	フェアトレードタウンの認定を受けるための課題整理等を行いました。	フェアトレードについて理解を深めるため、市ホームページ等を活用して広報を行い、フェアトレード商品の浸透を目指します。	89
90				企画部	企画課	広域連携の推進	君津地域4市で連携した取組を推進するため、定期的に意見交換会を開催します。		実施	▶	▶	▶	君津地域4市の副市長会議、企画担当部長会議、企画担当課長会議、企画担当者会議を開催し、意見交換会を実施しました。	今後も、君津地域4市の副市長会議、企画担当部長会議、企画担当課長会議、企画担当者会議を開催し、広域連携の推進を図っていくための意見交換会を実施してまいります。	90

事業No.	基本理念	施策	リーディングプロジェクト	担当部	担当課	具体的な取組	その他の主な取組	取組等の概要	スケジュール				平成28年度取組結果	平成28年度取組結果を踏まえた今後の取組について	事業No.
									H28	H29	H30	H31			
91	3 多様なあり方を認め合い、支え合う、自立した地域社会の仕組みを構築する	9 市内外の多様な主体との連携を推進する	No.10 世界とつながる木更津プロジェクト	総務部	行政改革推進室		公共施設相互利用の促進	市内外の交流の活性化等を図るため、公共施設の相互利用をめざし、市外料金の撤廃について、近隣市と共同で調査・研究を進めます。	検討	▶	未定	▶	公共施設マネジメント担当者による情報交換会を2回開催しました。各市それぞれが市税を投入し維持しており、市民の理解も含め、様々な調整を要することから、早期実現は難しい状況ですが、引き続き研究していきます。	左記の情報交換会を今後も継続し、事業の実現に向けて取り組んでいきます。	91
92															92
93															93
94															94
95															95
96															96
97															97
98															98
99															99